

大分県

地域、住民を守る 消防団活動紹介

生まれ育ったまちのため、大切な人のため。
あなたのペースで活動できる、
色々な参加の仕方があります。



消防団員
募集

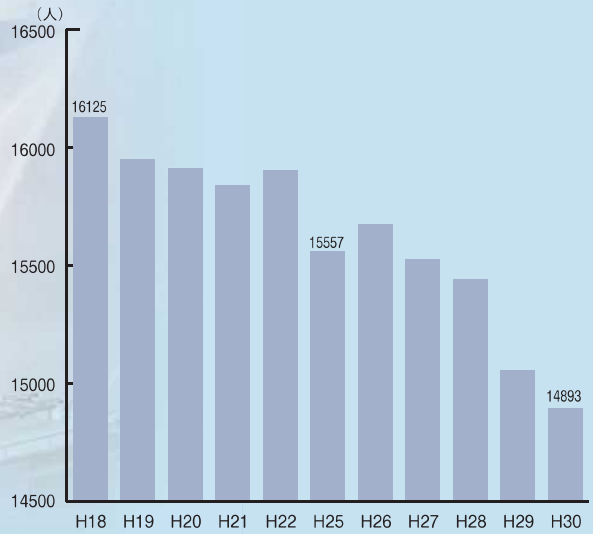


(豊後高田市消防団)

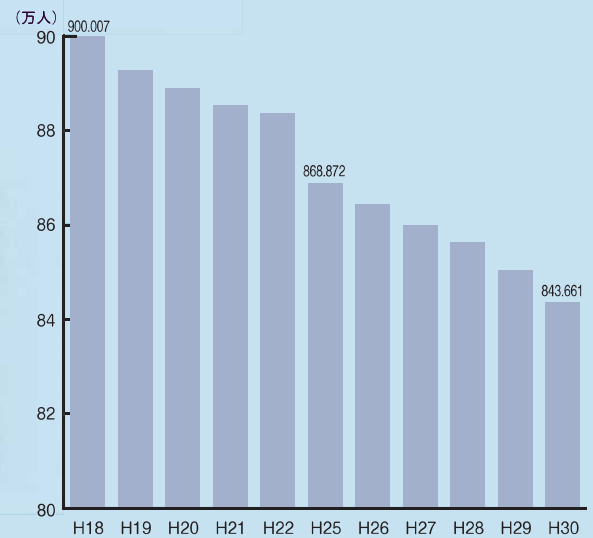
防火防災意識の啓発(由布市消防団)

DATA.2 消防団員数の推移

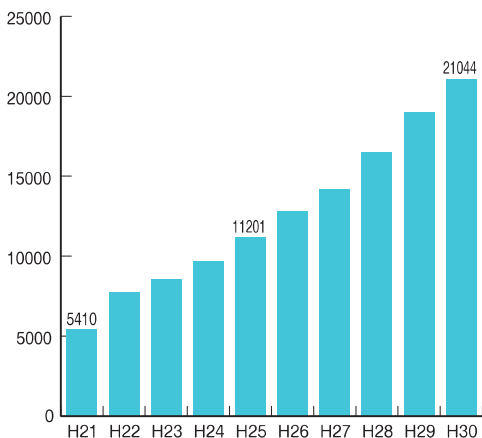
大分県消防団員数推移



全国消防団員数



機能別団員数推移



目次

- Topics 大分で輝く女性消防団員 3
- あなたのまちの消防団紹介
- 大分市／別府市／中津市 9
- 日田市／佐伯市／臼杵市／津久見市 10
- 竹田市／豊後高田市／杵築市／宇佐市 11
- 豊後大野市／由布市／国東市／姫島村 12
- 日出町／九重町／玖珠町 13
- 消防団以外の防災に関する団体 14
- 大分県で行っている施策

大分で輝く女性消防団員

消防団の活動には、女性ならではの活動も多く、
 たくさんの女性団員が活躍しています。
 働いている方も、学生の方も、主婦の方も、
 多くの女性のチカラが消防団で輝いています。
 ここではそんな大分で活躍する女性消防団員をご紹介します。



竹田市女性消防団

大分市 消防団

女性分団の
皆さん

救急講習や防災教室、
大分ラッパ隊でも活躍中



宿名 梢さん

猪野 智美さん

後藤 まゆみさん

大分市の女性分団は、防災について学び、伝えながら、現在25名で楽しく活動しています。学校などでおこなわれる救急講習のサポートや、幼稚園で紙芝居やクイズを通して防災に関する知識を身につけてもらう「わくわく消防教室」、防火パレードや出初式への参加などの活動をおこなっています。また、大分市消防団には出初式

などの行事で活躍するラッパ隊があり、所属している団員は月に2回、練習を重ねています。団員はそれぞれ仕事や家庭を持っていますが、活動の日程はあらかじめ決まっていますし、できる人ができる時に無理なく活動できるため、長く続けている団員も少なくありませんよ。



大分市消防団

知り合いの勧めやかっこいい制服に憧れて入団した私たち。消防団の活動は、ためになる知識が身につく、気分転換にもなります。皆さんと一緒に活動しませんか？

由布市 消防団

機能別消防団員の
皆さん

元気に明るく楽しく！
市役所勤務の団員たち



佐藤 美和子さん

加藤 由美さん

尾崎 羽蘭さん

丸尾 亜莉沙さん

13名の女性団員が活躍する由布市は、市役所の職員で構成された機能別消防団員です。20~30代の若いパワーと女性ならではの気配りで、地域の幼稚園での防災講習の実施や救命講習、特別点検、出初め式などをサポートしています。入団してよかったことは、防災や救命に関する知識を身につけられたこと。また、年に1回開催される

女性消防団員研修にも参加し、東京の防災センターで最先端の防災システムや情報を見聞きできたことも、とても貴重な経験になりました。これからは資格を取ったり、自分たちができることはなにかを考え、積極的に取り組んでいきたいと思っています。いつかは操法大会にも出場してみたいです！



由布市消防団

消防団は地域に貢献し、自分自身や周りの人を守ることができる、やりがいのある活動。同じ職場で働く者同士、いつも笑顔で楽しく活動を続けていきます。

消防団の必須アイテム紹介 【防災車両】

消防団で使用する車両は、消防ポンプ自動車（ポンプ車）以外に、水槽付き消防ポンプ自動車（タンク車）、小型動力ポンプ付積載車などがあります。消防団と消防署の車両の見分け方は、車体書かれている名称と、車の一番真ん中にあるマークが違います。「桜」のマークがついている車両は、消防団の車両です。



【消防ポンプ車】

竹田市 消防団

女性部
安達 春菜さん

同じ消防団員の主人と
励ましあいながら活動



4年前に竹田市消防団女性部が発足した当時、友人に誘われて軽い気持ちで入団しました。以来、資格を取得し、普通救命講習の指導員として月に一度、企業や学校などに出向くほか、防火・防災の啓発運動や消防団の広報活動をおこなっています。さまざまな年代の友人ができて、防災や救命につ

て色々な情報が得られたり、講習などで役立つことを人に伝え、感謝されたり、入団してからずっと楽しく、やりがいを感じながら活動を続けています。消防団は堅苦しい、大変そうというイメージがある方も多いでしょうが、実際はとても自由でマイペースで活動できますし、和気あいあいと楽しく続けられますよ。



竹田市消防団
安達 春菜さん [病院事務職]

大分県竹田市出身。地元の病院で事務員として働きながら、空き時間を活用して消防団の広報活動などをサポート。7月に結婚したばかりのご主人も消防団員で、お互いの活動を応援しあっています。

津久見市 消防団

女性団員の
皆さん

島の安全を守るため
男性と同じ活動を実施



清田 香代美さん

神崎 弥代さん

野村 つた子さん

私たちが住む保戸島では、消防署がなく、男性は遠洋マグロ漁に従事し留守にすることが多いため、いざという時に女性が島を守らなければなりません。消火栓の点検や高齢者のお宅巡回、春と秋のパレード参加、放水訓練など、すべて男性と同じ活動をおこなっている女性団

員は、全国的にも珍しいようです。昨年の豪雨災害時や最近起きた大きな火事でも、見回りやバケツリレーなど男性と一緒に現場で活動しました。こうした他の分団では経験できないことを、千人規模の女性消防団の大会で発表する機会もいただきました。消防団の活動は、すべて自分自身の成長につながっていると感じています。



津久見市消防団

もともとママさんバレー仲間の私たち。防災活動はもちろん、高齢者の方の生活サポートなど、地元の団体と力を合わせて、地域のために頑張ります。

Topics-3

消防団から生まれたローカルヒーロー！

消防戦隊キコレンジャー。5人組の消防戦士。キコレンジャーの「キコ」は消防団員の詰所である分団機庫に由来しています。大分県佐伯市を拠点に活動中。メンバーは消防団員並びにその関係者で構成され、平成16年秋に誕生しました。キコレンジャーショーを地区のイベント等で披露し、火災防止の啓発のみならず、消防団に対する市民の注目度を上げ、ひいては消防団活動に対する理解を深めてもらう活動を行っています。



【消防戦隊キコレンジャー】

宇佐市 消防団

女性部の皆さん

新聞発行や資格取得
パワフルに活動を展開



松永美絵さん 中嶋麻由美さん 四井初枝さん 末貞正子さん

平成13年に発足後、礼式訓練や消防に関する条例などの勉強会や、地元のお祭りでダーツの出店をして活動費をつくったり、補助金をいただいて宇佐市消防団発行の新聞「まとい」を作成、保育園で紙芝居の実施など、自発的に活動を展開してきました。また、防災士など資格取得にも力を注ぎ、今年は女性部10名が応急手当普及員の

試験に合格。市消防本部の救急隊員と連携し、心肺蘇生法など応急手当の知識を広めています。活動にあたり、家庭や仕事との調整は必要ですが、団員同士お互いを助けあったり、事務局も手厚いサポートをしてくれるので、居心地のいい、長く続けたいところだと思います。



宇佐市消防団

まるでみんながひとつの家族のような、アットホームな雰囲気が特徴です。若い人はパソコン作業など得意分野を、入団歴が長い人は経験を生かして、事務局に支えられながら楽しく活動しています。

豊後高田市 消防団

女性部の皆さん

女性部一期生として
一歩ずつ着実に前進中



阿部木綿子さん 仲田福恵さん 清原都望美さん 田崎瞳さん

私たちは平成28年の発足と同時に入団した、女性部一期生です。入団当時は、相談できる先輩もいないのですべてが手探りでしたが、家庭や職場の理解と応援もあって、頑張って続けることができています。この2年間、住宅用火災警報器などの設置の呼びかけでご家庭を回ったり、「5月祭」や「わくわくたかだこどもフェスタ!!」など市の行

事をはじめ、火災予防運動期間中に交差点でアンケートやチラシ配りをしたり、ケーブルテレビなどメディア出演、夏季訓練でのアナウンスや給水係など、色々なことを経験してきました。これからも、防災士などの資格取得などを目指しながら、精力的に活動していきたいと思えます。



豊後高田市消防団

豊後高田市消防団本部付きの女性部のメンバーです。各ご家庭に防火意識を高めてもらうため、小さなことからコツコツと、さまざまな活動を展開していきます。

年間行事

消防団で行われる
様々な行事をご紹介します。

消防出初式

消防関係者により、1月初旬に行われる仕事始めの行事。放水点検やラッパ隊による演奏、梯子乗りの披露等も行われる。各市町村により実施内容は異なります。



消防出初式

01

春季火災予防運動

03

辞令交付式
消防団員研修会

04

消防操法大会

消防操法(しょうぼうそうほう)とは、日本の消防訓練における基本的な器具操作・取扱の方式。総務省消防庁の定める『消防操法の基準』に基づく火災消火を想定した基本操作の訓練です。第二次世界大戦後から、主に消防団の訓練形式として本格的に行われています。

県内消防団員の消防操法技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の充実発展を目的に行われています。



第30回 大分県消防操法大会

夏季訓練
(7月~9月)

07

消防操法大会
(隔年)

08



教育訓練体制と 消火・防災訓練

火災消火の基本的な操作の習得を目指すための手順、ポンプ操法の訓練を平常時に行っています。ポンプ操法は、実際の火災現場での消火を想定して行われ、全国規模で消防操法大会も実施されています。消防団員は日々技術の向上に努め、訓練に励んでいます。

その他にも、災害現場での後方支援や、負傷者の応急救護処置などにも対応できるよう研修会を開くなど、防火防災訓練にも力を入れています。



消防団装備点検

10

秋季火災予防運動
消防大会

11

年末夜警

12





消防団の活動

非常時は

消火活動

住民の方の安全確保
避難誘導、交通整理
現場の監視 など



実際の消火活動中の写真(中津市消防団)



平常時は

研修・訓練

消防署との連携訓練、
防災に関する知識を深める
ための研修 など



消防署職員との連携訓練(別府市消防団)



消防団危険予知訓練研修風景(竹田市消防団)

消防団というと、火災現場での消火活動だけを思い浮かべる方も多いと思います。

しかし、実際の現場では消火活動だけでなく、住民の方の安全確保や避難誘導を行ったり、交通整理なども行い、消防署の方の消火活動の支援も行っています。また、再燃の可能性がある場合は、昼夜を問わず長時間、場合によっては数日にわたって、監視を行うこともあります。

また、大雨や台風などによる風水害が発生したときには、現状を確認するために、地域を巡回し、河川の水位の状況や異変がないかを確認します。また、地域住民の方への避難誘導なども行います。

火事や災害はいつ起こるかわかりませんので、消防団員自身も知識をつけるために研修や訓練等を年間を通じて行っています。訓練は、消防署の職員と連携して行ったりすることもあります。



消防団員は、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、その地域での経験を活かした消火活動・救助活動を行います。それ以外にも、啓発活動、応急手当の普及活動、広報活動などさまざまな活動を行っています。

啓発活動



救急啓発活動(大分市消防団)



防火防災意識の啓発(白杵市消防団)



防火防災活劇の一場面(別府市消防団)

ラッパ隊

消防団の中には、ラッパ隊を組織しているところがあります。出初式や式典などで演奏を行い、隊独自の制服があるところもあります。自衛隊など他の組織と共演することもあります。



別府市消防団と自衛隊との共演



宇佐市消防団ラッパ隊